



地元食材はスーパーで手に入れる66% 鹿児島県の食卓は地元食材が満載！

地元を代表する食材が「豊富にある」と回答した人は全国平均では25%。しかし、地域によって差が大きく、大都市圏で「豊富にある」と答えた人は、東京5.3%、大阪5.0%と少数派。反対に鹿児島では63%、京都では58%の人が「豊富にある」と答えています。(グラフ)

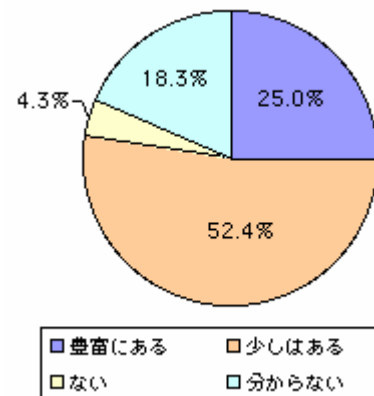
「地元を代表する食材」として回答者が挙げた食材の入手場所の上位は、「スーパー」66%、「生産者直売」27.7%、「生協」20%。現在、多くのスーパーの店頭で、「地元産の野菜表示」が推進されていることも関わりがありそうです。また、地域によっては、「生産者直売」(栃木49.3%)、「農協・漁協など」(湘南30.1%)などのほか、「地元産食材はもうものだ」(和歌山41.6%)という答えもあり、入手法には地域と、食材による特性が出ました。(グラフ)

今回のアンケートで一番地産地消のレベルが高かったのが鹿児島。「肉は地元産を買う」41% (全国平均13.8%)、「野菜は地元産を買う」60% (同39.8%)、「魚は地元産を買う」34% (同25.3%)といずれも全国平均を大きく上回っており、地元産食材が食卓に頻繁に上がっていることがわかります。

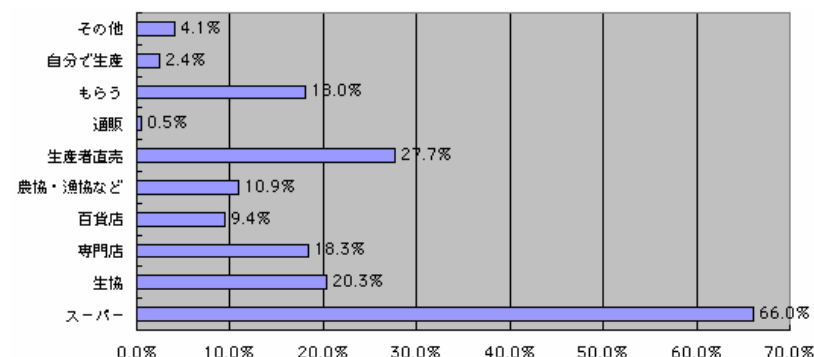
< 調査概要 >

2006年1月～2月、全国リビング新聞紙面、およびウェブサイトで実施。
有効回答3900人(女性のみ)、平均年齢42歳。うち、「料理をすることが好き」51.2%、「普通」41.2%、「できれば作りたくない」6.4%

グラフ 地元を代表する食材の有無



グラフ 「地元を代表する食材」は主にどこで入手することが多いですか？



リビング新聞ネットワーク 女性のための生活情報紙「リビング新聞」は、仙台から鹿児島まで60エリア908万部で発行され、エリアごと地域に密着した情報収集と発信を行っています。

ウェブサイト <http://www.living-network.com/>

リビング新聞ネットワークでは、2006年度～2007年度「**わが家ごはん・地元ごはん・ニッポンのごはん**」キャンペーンを全国で実施。本データのほか、地産地消、食育などについてのデータは下記サイトでもご覧いただけます。

ウェブサイト <http://wagaya-gohan.jp/>

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430